

研修4日目、身も凍えるような朝を向かえました。日中の気温がマイナス4℃。風も強く、これぞボストンの冬、という一日でした。早朝、生徒さんは口々に「寒い寒い！」と言いながら全員が時間通りに登校してきました。一組、寝坊をしてしまったようで時間通りに登校できないと電話が入りました。しかし、授業開始10分程前に無事登校することが出来ました。もちろん寝坊をするのは良くありませんが、自分達の行動をしっかりと判断して的確な対応が出来ています。一日一日と、成長していく姿がとても頼もしく思えます。

本日は英語レッスンの2日目です。同じクラスの留学生と、少しずつ打ち解けて話が出来ようになっていきます。昨日よりも、休み時間に廊下でお喋りをする姿が多く見られました。本日の午後は、フリータイムを予定していました。ELCで実施されるアクティビティに参加しても良いですし、疲れている人はホストファミリーのお宅に帰ってもかまいません。ここまで大きな体調不良もなくやってこれましたが、そろそろ疲労が蓄積されている頃です。まだ時差ボケの影響で、昼間に眠くて仕方ないという人もいます。実は田中先生・小原先生と相談をして、この時間をどのように有意義なものにしていくか予め話し合っておりました。ELCで学ぶことが出来るのはあと二日しかありません。日本に帰ってから「もっとやっておけば良かった」「なぜあの時勇気を出して話しかけなかったのか」と思っても、改善することはできません。毎日提出してもらっているしおりの中には「何を言っているか分からなかったのに、聞き返すのを躊躇してしまった」と、あと一歩踏み出せずにいる記述も少なくありません。そこで、このフリータイムを利用して、生徒さんにどうすれば良いか意見を出し合ってもらいました。先生やISAスタッフは介入せず、あくまで自主的に、思い思いに話し合ってもらったのです。全体をまとめてくれたのは、田村彩奈さんです。数名に分かれて、どんなことで苦労しているのか、どのように乗り越えたのかを共有してくれました。「留学生に話しかけたくても、ずっとスマホをいじっていてタイミングがつかめない→とにかく話しかけるしかない!」「ホストファミリーとの会話が続かない→毎晩話すネタを少しずつ出していく、例えば持ってきたお土産を毎日ひとつずつ渡す」一つひとつは小さなことかもしれませんが、40名が集まれば良いアイデアが共有できるでしょう。約1時間の短い時間ではありましたが、話し合いが終わる頃には、教室が熱気に包まれていました。研修を不完全燃焼で終わらせることのないように話し合ったこの時間が、きっと今後の行動につながってくることと思います。

その後は、ELCのアクティビティにほとんどの生徒さんが参加していました。本日は、クリスマスデコレーティングです。お菓子をつまみながら、学校の受付やラウンジにクリスマスの装飾を施していきます。もちろん、留学生と一緒にいきます。いつもは少し緊張気味で留学生に話しかけていた生徒さんでしたが、この時ばかりは笑顔と一緒に作業をすることが出来ました。

本日、この後の帰宅確認電話では、一組の生徒さんが報告を忘れてしまいました。昨日3組が忘れたことで、昼間に田中先生から十分注意するように話があった後ただだけに、非常に残念でした。そしてその二人は、朝遅刻の電話をしてくれた二人だったのです。帰宅してからファミリーと夕飯を食べ、一緒にゲームをして遊んでいたら、電話をするのをすっかり忘れてしまったそうでした。彼女達には、どうすればこのようなミスを防ぐことができるのかしっかりと二人で考え、改善策を示すように伝えました。誰でもミスをすることはあります。しかし同じことを繰り返さない為に、どのように力を合わせて乗り切るのか、しっかりと考えて欲しいと思います。以上が本日のご報告です。

びっしりと書かれた日記



一緒に笑い合う仲になりました



クリスマスの飾りつけは皆で取り組みました

